



令和
四年

新年の

ごあいさつ



尾道市長
平谷 祐宏

新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。
市民の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、本市行政に対し、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本市では、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、「感染拡大の防止」「市民生活の支援」「雇用・経済活動の継続」「今後の備え」の4つの視点に立った取組を進めてまいりました。引き続き、市民生活や地域経済の早期回復に向けて、ワクチン接種の促進や感染防止対策支援事業など、医療関係者の多大なる御支援をいただく中で、私が先頭に立ち「チーム尾道」で取り組んでまいります。

さて、本年は千光寺公園の頂上展望台エリアがリニューアルいたしますので、多くの市民や観光客の皆様へ、新しい展望台からの絶景を堪能していただきたいと思っております。また、市民の皆様が抱く「尾道愛」を高めるため、「COCORONOMICHI(ココロノミチ)」をキャッチフレーズとして、皆様一人ひとりとともに、尾道の魅力を全国さらには世界へ発信していく取組を展開してまいります。

本年は、市の最上位計画である尾道市総合計画の都市像「元気あふれ 人がつながり 安心して暮らせる ～誇れるまち『尾道』～」の実現に向けて、今後5年間の後期基本計画がスタートする年でもあります。「スマートシティ」や「ゼロカーボンシティ」の取組を進める中で、本年、デジタル社会に必要な光ファイバー網が市内全域に整備され、尾道に住むこと、尾道で仕事をすることがステータスとなるようブランド力の更なる強化を図ってまいります。

皆様が豊かに暮らせる未来を切り拓くまちづくりを一步ずつ着実に進めてまいりますので、本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして幸多き一年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、新春を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から市議会の各般にわたる活動に対しまして、格別のご理解やご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

一昨年来、新型コロナウイルスが猛威を振るい、日常生活や、地域経済に甚大な影響を及ぼし、市民の皆様は大変なご苦勞をされていらっしゃるものと推察しております。議会におきましても市民の皆様のご理解ご協力のもと、傍聴の際、席の数を減らし、マスクの着用をお願いするなどの感染防止対策を引き続きとらせていただいております。

さて、本年の干支「寅」は勇猛果敢な動物であり、周りを見渡す力もごぞいます。私ども市議会も、コロナ対策、「尾道」の魅力を活かした地方創生、人口減少対策など、課題については強い実行力を持って取り組んでまいります。また、持続可能な行財政運営を求めると、将来を見据えた議会活動に努めてまいります。さらに市議会の新たな取り組みとして、市民の皆様により身近に感じられる、参画しやすい開かれた議会を目指し、常任委員会の動画配信を検討中でございます。

本年も市民の皆様のご意見、ご要望を真摯に受け止め、市政に反映させていただきますので、ご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり、市民の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



尾道市議会議員
高本 訓司

